

事務事業名		日本ツバキ協会参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	06	01	02	15
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 不明 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	農林水産部 農林課				A 政策事業	B 施設整備			
	課長名	菅原 博幸				C 施設管理	D 補助金等			
	係名	農政係	電話			27-3111	E 一般(A～D以外)			
	担当者	森 正	内線	7121						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
・日本ツバキ協会に負担金を支出する事業。 ・日本ツバキ協会は、①会報の発行(年2回)、会誌「椿」の発行(年1回) ②全国椿サミット:ツバキ・サザンカを指定花木とする市町村と共催で、毎年春に全国椿サミットを開催 ③本部、支部による全国各地でのツバキ展の開催 ④接木・挿し木の講習会やツバキにかかわる研究会、探訪旅行など ⑤ツバキに関連するグッズ、印刷物等の頒布などの活動を行っている。 ・椿を市の花としている本市は、椿を資源とした観光行政を推進するため、日本ツバキ協会の会員となり(平成12年には、本市において第10回全国椿サミットが開催されている。)、負担金を支出している。 ・市長が協会の理事となっており、全国椿サミット及び理事会等に出席している。				総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
日本ツバキ協会に負担金を納付した。		ア	全国椿サミットへの出席人数 人
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	全国椿サミット協議会理事会への出席人数 人
日本ツバキ協会に負担金を拠出する。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
日本ツバキ協会		名称	
		単位	
		カ	日本ツバキ協会決算額 千円
		キ	日本ツバキ協会会員(本部・支部会員)数 人
		ク	日本ツバキ協会会員(法人)数 団体
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
運営が円滑に行われる。		名称	
		単位	
		サ	協会の会報、会誌の発行回数 回
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)		シ	
椿の魅力がPRされ、認知度が高まる。		ス	

(2) 総事業費・指標等の推移								
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(目標)	2年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	10	10	10	10	10
	事業費計(A)		千円	10	10	10	10	10
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	3	3	3	3	3
		人件費計(B)	千円	12	12	12	12	12
		トータルコスト(A)+(B)		千円	22	22	22	22
⑤ 活動指標		ア	人	2	2	2	2	2
		イ	人	2	2	2	2	2
		ウ						
⑥ 対象指標		カ	千円	7317	5679	5908	6350	6350
		キ	人	1250	1250	1150	1200	1250
		ク	団体	39	39	40	40	40
⑦ 成果指標		サ	回	3	3	3	3	3
		シ						
		ス						


事務事業ID	0502	事務事業名	日本ツバキ協会参画事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	当市の花を椿と定めたことによる(開始年度は不明)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	「世界の椿館・基石」の運営や椿の里づくり推進事業等により、当市が椿の里というイメージが定着してきている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	特になし

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 日本ツバキ協会やツバキを指定花木とする市町村との交流、椿に関する情報取得により、椿の里のイメージが定着し、観光客に対して椿の里としての認知度を高めることができ、産業の振興につながる。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 大船渡の観光イメージとして、椿の里づくり推進を目的としており、目的達成のため継続の必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象である日本ツバキ協会に対し、負担金を納入し、協会の運営を健全なものとするのが意図の事業であることから、対象、意図とも適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 協会の運営を支えるために、継続して事業に参画する必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 椿を市の花とし、観光資源として活用を図るためには、引き続き協会への参画が必要。また、市では、平成33年度全国椿サミット開催地としての内定を得ているため、協会への参画は必要。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は負担金のみである。また、全国椿サミット等への出席にかかる旅費については、別事業から支出されている。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 負担金納入事務と全国椿サミット等への出席にかかる人件費のみ。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 受益者負担は発生しない

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。 	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								
特になし																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状維持で継続する。